

上越市スポーツ施設整備方針について

～～ 新たなスポーツ施設の整備に向けた考え方 ～～

上越市教育委員会（スポーツ推進課）

- 施設の老朽化や競技人口の減少が進む中、各団体からは今後の競技の普及や選手の育成などを見据え、スポーツ施設に関する様々な整備要望を受けており、新たな施設整備は将来に向けたスポーツ振興の一つの有効な手段として捉えている。
- しかし、施設整備に関しては、例えば一定規模であれば、事業期間は複数年を要し、事業費も多額となることから、各団体の要望内容を市政全体の主要計画と整合を図りながら、全て実現していくことは財政的に困難である。
- よって、新たな施設整備を着実に事業化へと結び付けていくため、現状の利用実態と将来予測に基づく評価基準を設定し、市民や競技団体等と共有した上で、優先すべき施設整備の早期実現を目指していく。

目的

- 公平・公正で、透明性のある施設整備の判断基準を明確化
- 市民や競技団体と施設整備の考え方を共有
- 効果的・効率的なスポーツ環境の整備

位置付け

- 市総合計画や財政計画、市総合教育プランとの整合
- 市公共施設等総合管理計画（市公の施設の適正配置計画）との整合
- 健康・福祉・防災・地域振興などの各種施策との連携

教育委員会の考え方（整備方針）を整理

市長部局へ提案（予算要求）

3 総合評価による優先度判断基準

A:最優先 (緊急性が高い)	B:重要 (中期で整備すべき)	C:再検討 (長期的に検討)	D:保留 (検討見送り)
- 事故や休止のリスクが高いこと - 代替困難で練習や大会運営に支障が生じること - 施設の集約化・多目的化・複合利用化による投資効果が極めて高いこと	- 利用需要に対して施設が不足していること - 代替は可能だが十分ではないこと - 大会やイベントを定期的に誘致できること	- 利用需要に対して施設が過剰であり、機能集約が合理的であること - 現時点では左記A・Bと比べて緊急性や重要性が低いこと	- 利用実態が極めて限定的であること - 将来需要が見込めず、投資効果が低いこと

【特記事項】

- ✓ 最終的な施設整備の決定は、市政全体の中で総合的に判断される。
- ✓ 施設整備に係る財源の確保に向けて、全ての既存施設を対象に、稼働率や老朽度、配置バランス等を考慮しながら、施設の適正配置（廃止・譲渡）を進める。
- ✓ 優先度判断基準は、社会情勢や市民ニーズを踏まえ、必要に応じて適宜見直す。

今後の進め方

- 新たな施設整備の事業化に向けた関係部局との協議
- 既存施設の適正配置（統廃合）の計画的な実施
- 市民や競技団体との継続的な対話
- 利用実績データの定期的検証
- 社会情勢やスポーツ需要の変化等に基づく整備方針の適宜見直し

目指すべき将来像

★上越市第3次総合教育プラン（＝上越市第7次総合計画）

プラン4 スポーツの振興（取組4－2 スポーツ環境の充実）

スポーツ施設が適正に配置され、安全で快適にスポーツができる環境整備を目指す

- 安全で快適なスポーツ環境を維持していくため、ユニバーサルデザイン指針等に基づき、施設や設備、用具の機能維持に努めます。
- 利用実態やニーズの変化などを踏まえ、施設の統廃合や機能の拡充、新たな施設・機能の整備などを計画的に進めるなど、スポーツ関連施設の適正配置に取り組みます。